

片倉城跡公園 散策マップ

◆ 片倉城跡公園の自然

樹林・草地・湿地・水面などの多様な環境を有しているため、豊かな動植物に恵まれ、四季折々の自然を楽しむことができます。

●植物: 自生していた種と、のちに導入された種があり、樹木が 107 種、草花 95 種が確認されています。

●鳥類: シジュウカラやヒヨドリなど身近な種に加えて、カワセミ、カルガモ、アオサギ等の水辺の鳥、コゲラ、アオゲラ等のキツツキの仲間、ウグイス、キビタキ、ジョウビタキ、さらに猛禽類のツミなども確認されています。

◆ 片倉城跡公園の歴史

公園では、東京都指定文化財である旧跡片倉城跡上の広場周辺の空堀などに城跡の遺構を見ることができます。

15 世紀後半、鎌倉幕府初期の重臣・大江広元を祖にもち関東管領家の扇谷上杉氏の家臣であった長井氏によって築城されたともいわれていますが定かではなく、また城主も城が放棄された時期も明確には判っていませんが、扇谷上杉朝定によって再築された深大寺城と、築城の特徴が類似しています。

先端部分の東側郭（本丸広場）が主郭で、住吉神社のある所が腰郭、西郭（二の丸広場）は南に大きく張り出し、東部の主郭を守るような形を成し、その前方には、大手道が低い位置を横切っています。この方面から来る敵に対して防御を考慮した造りです。二つの郭は空堀によって区画され、空堀は鉤の手に掘り込んであり、曳橋（ひきばし）か跳橋（はねばし）によって連絡されていたと考えられます。西郭（二の丸広場）は、東郭に比べて約 2 倍の広さを持ち、ほぼ完全に空堀が巡らされており、その空堀は北に向かって深く落ち込み、そこに湧水があります。

後世の改変が加えられているものの空堀・土塁等の名残があり、15 世紀後半の中世城郭の形態を示す典型的なものです。平成 11 年 3 月、東京都から史跡に指定されています。

※東京都教育庁資料・八王子市文化財課資料をもとに記述



①本丸広場



②城郭の遺構を残す空堀



③二の丸広場



④奥の沢を抜ける遊歩道

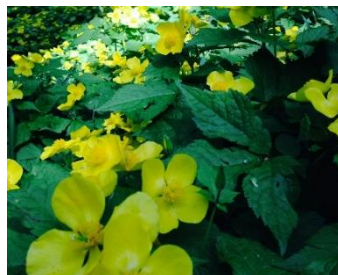


◆ 主な樹木・草花の花暦

対象	3月		4月		5月		6月		7月		8月	
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
●樹木												
キブシ												
コブシ												
ソメイヨシノ												
ヤマザクラ												
ヒトツバタゴ												
ホオノキ												
ヤマボウシ												
ネムノキ												
●草花												
アズマイチゲ												
カタクリ												
ニリンソウ												
ヤマブキソウ												
イチリンソウ												
チゴユリ												
コウホネ												
スイレン												
アヤメ												
ハナショウブ												
ヤマユリ												
ウバユリ												
キツネノカミソリ												



⑤奥の沢に咲くヤマブキソウ



⑥彫刻広場のヒトツバタゴ



⑦菖蒲田に向かう園路



⑧初夏の菖蒲田



⑨菖蒲田を渡る木橋



⑩水車小屋

